

神奈川異グ連、第21回総会と 異業種グループ・事業化プロジェクト交流大会を終えて

芝 忠

去る6月25日、神奈川県異業種グループ連絡会議（通称：神奈川異グ連）の第21回総会と、引き続いて神奈川異グ連の直轄支援している事業化プロジェクトや特徴ある異業種交流グループの活動報告・交流大会が神奈川中小企業センタービルで開催されました。

総会で採択された2004年度事業計画の目玉は、中小企業支援のための新しい発想による「一大交流センター構想作り」の要望書を松沢神奈川県知事に提出したことです。もともと'95年度に「異業種交流センター」が当時の(財)神奈川中小企業支援財団内に開設されて以降、交流支援を中心に運営されてきましたが01年度の機構改革により「異業種交流センター」の名称は無くなりました（通称での使用は許可されています）。それと共に「交流センター」として中小企業者が気楽に、自由に集まれる雰囲気が年々後退し、ライン業務強化とは裏腹に交流機能が低下しているのではないかと危惧しています。

個別相談や専門家派遣等による課題解決は非常に有効ですが、誰かが卓越した知識や経験でリーダーシップを取ることだけではなく、中小企業経営者相互のフラットな交流により、各々が自立的に問題を解決するためのヒントを獲得するという「交流型」の問題解決手法もより重要となっています。つまり中小企業者同士、大学や試験研究機関、さらに行政等も含めて、中小企業者の自立支援政策をより推進すべきと考えています。全国の中小企業支援機関の政策は、ややもすれば個別企業の経営支援対策に終始し、企業自らの自立化を支援するという観点が少ないのではないのでしょうか。

また支援する側の専門家と称する方々も、確かに専門知識を豊富に持っていますが、「それを教えてやる」という態度が無いでしょうか。起業家も経営者も専門家もみな同じ経験を積んでいるわけではなく、各々が不足する知識を補完し合うという謙虚な働きかけが必要だと思います。

さらに方針の中で異業種交流の支援機関（財団）の体質改善や人材育成策及び都道府県中小企業支援政策のあり方へも問題提起を行いました。異グ連のような任意団体が行政や事務局を担っていただいている支援機関等へ注文をつけるのも珍しいことですが、中小企業活性化のためあえて提起しました。

役員の選任では従来はグループ代表のみで構成されていましたが、企業会員、個人会員からも新たに加え、27名中6名を理事・監事として選ばれました。全国的にも直接企業会員や個人会員が連絡組織の役員に加わることは珍しいことです。異グ連の活動強化が期待されます。

総会記念として開催した「プロジェクト・グループ交流大会」は、参加者70名、発表は4プロジェクトと4グループの計8団体からの報告となりました。

- ① **航空宇宙部品関連の新会社 I ASPA(株)と“まんてん”プロジェクト（航空宇宙開発関連部品調達支援プロジェクト）**：日本の宇宙開発の部品ビジネスに参入しようとするもので、すでにJAXA（独立行政法人宇宙航空研究開発機構）からの受注実績も上がっています。
- ② **高機能環境舗装（超硬度、透水生、保水性、新道路舗装）プロジェクト**：日本で初めての極めて高強度の舗装技術を実用化し、しかもそれが画期的な透水性、保水性機能を有するという事で大手企業や行政の注目を集めています。すでに横浜市内の重量車両が頻繁に通過する道路舗装での実績があります。
- ③ **新防食技術活用プロジェクト**：横浜国立大学との共同研究で“大学発ベンチャー”支援策と一体となり、日本のような海に囲まれている土地での塩害など新防食技術の実用化プロジェクトです。
- ④ **横浜市「関内地区」都市再生プロジェクト**：横浜市内の地域構造の激変の中で、既存オフィスビルの再活用に新たな視点を当てて、新ビジネスの基盤づくりに貢献しようとするものです。

これらの4プロジェクトは神奈川異グ連の目下極めて戦略的な事業化促進プロジェクトで、共同出資による新会社や協同組合などを視野に入れた意欲ある事業家集団です。これらはいずれも何処にビジネスチャンスがあるかを示唆する新しいステージを用意してチャレンジしており、新規事業の創設をめざした事業化プロジェクトです。

次に女性だけのグループや中高年のグループ等、ユニークな活動をしている異業種交流グループの発表がありました。

- ⑤ **かながわ女性起業家クラブ** ⑦ **SPRING in かながわ**
 ⑥ **山北工業クラブ** ⑧ **オールディーズシニアクラブ**

この4つの異業種交流グループは近年、異業種交流のマンネリ化が叫ばれている中で、新たなグループ創設の動きや既存グループの活性化を目指した特徴ある運営など、これからの異業種交流グループ作りの参考となっています。

旧来より異業種交流グループには“ものづくり”や“もの売り”などのビジネスに直結する成果を期待する向きが多かったようですが、むしろ中長期的にグループ参加企業の経営者同士の人材育成や経営革新に相当効果があるものと見なされるようになってきました。実はそれが異業種交流の王道で、**開発研究・新事業等の努力はむしろ「事業化プロジェクト方式」**の方が適切なようです。**従来からの異業種交流会は「地域の経営人材の育成・総合的経営革新」**であり、**同業種も含めた事業化プロジェクト方式は「個別ビジネスの創出」という棲み分けが重要です。**

我々異グ連は、わが国の「異業種交流促進政策」の中で、創業・新事業支援や産学官交流も含めた総合的中小企業政策として「交流型自立化政策」を実践的に提案・運営しているという責任を改めて実感しています。

主要な“かながわ異グ連”のプロジェクト、及び研究会の活動報告、PR

公的補助金活用普及研究会

志岐AD（研究会事務局長） AD：神奈川異グ連交流アドバイザー

現在、経産省関係の次の補助金が公募されております。

「平成16年度未利用エネルギー活用地域熱供給システム事業調査費補助金」

- ①対象事業：未利用エネルギーを活用した地域熱供給の事業化調査を対象とします。新規地区は勿論のこと、既存地区の設備更新等で未利用エネルギーを活用する場合も含まれます。
 ボイラー、ヒートポンプ、熱交換器の加熱能力の合計が21GJ/h以上のものを対象事業とします。
- ②応募対象者：未利用エネルギーを活用した地域熱供給の事業化調査を行おうとする民間企業、地方公共団体、第三セクター又は公益法人が対象となります。
- ③補助対象範囲：人件費 / 事業費 / 諸経費 ④補助率等：補助率 定額（20百万円を限度）
- ⑤応募方法：未利用エネルギー活用地域熱供給システム事業調査を行おうとする事業者で、補助金の交付を希望する事業者は、資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課熱供給産業室あてに当該事業の実施計画書を2部提出してください。
- ⑥公募期間：**公募開始 平成16年7月1日（木）～公募締切 平成16年7月30日（金）必着**
- ⑦問い合わせ先：資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 政策課 熱供給産業室 03-3501-1512(内75178)
 （申請書作成のご相談については、当研究会事務局まで 03-3209-0841 志岐 bsupport@dream.ocn.ne.jp）

オールディーズ・シニア・クラブ

小林BC BC：神奈川中小企業センタービジネスコーディネーター

- 「**青い羽根**」の街頭募金を行います。皆様の心温まるご協力をお願い致します。
 日時・場所：**7月19日（月）「海の記念日」（祭日）**。11:00～13:00 雨天決行。JR 桜木町駅前
 その他：ブルーのTシャツ（クラブユニフォーム）を着ております。
- チャリティ映画祭で上映される「**ホーム・スイートホーム2**」の舞台は愛媛・今治市です。
 物語は都内の一流商社の取締役役に昇進した息子（50）と今治市にいる父親（81）を中心に展開されます。初期の痴呆症で徘徊癖のある父親をめくり度重なる家族会議が開かれ、父との固執で悩む息子だが、ついに辞表をだして、故郷に戻り、地元企業を手伝いながら親の面倒を見る。今治での様々な出来事を繰り広げながら、新たな出会い、家族の再生のドラマが展開していきます。
 今治のロケは約1ヶ月を費やしましたが、映画監督の栗山富夫さんは当地をすっかり気に入ったと次の様に話しております。「正岡家の邸宅も素晴らしかったし、みかん山の風景も何とも言いようのない絶景、そんな今治の風景の素晴らしさも映画にたくさん入っています。映画の素材としての今治の風景・人情、全てがうまくリンクしたかのようでした。」
 柴田恭兵・石田えり・秋野大介などが熱演を繰り広げた見応えのある映画です。皆様お誘い合せのうえ、是非、ご鑑賞下さいませようお願い致します。
 鑑賞券は1枚1000円です。045-641-2851 古澤までお申し込み下さい。
（上映日：9月11日（土）、昼・夜。場所：横浜市開港記念会館）

<p>第44回日韓ビジネス協議会 高橋BC</p> <p>第44回日韓ビジネス協議会は6月23日(水)5階・会議室で下記の内容で開催し参加者は18名でした。</p> <p>①韓国ベンチャー企業の紹介・(株)O2RUN/遠隔健康診断システム：姜氏(韓国中小企業振興公団のベンチャーセンター駐在)</p> <p>②韓国中小企業振興公団活動方針：日本事務所 朴魯鍊氏</p> <p>③(社)韓国貿易協会活動方針：支部長 朴良燮氏代行 李重昊氏</p> <p>④「2004年度版の中小企業白書について」：会長 瀧澤 清氏</p> <p>次回は7月28日(水)6階・特別研修室で開催します。参加はどなたも自由ですので関心ある企業の参加を歓迎致します。会費は1000円です。参加時には事務局の高橋まで連絡してください。TEL：045-311-0094</p>	<p>KIKの活動：7月度報告 渡部BC</p> <p>7月21日(木)に会員企業見学を行います。見学先は前神奈川県中小企業家同友会代表幹事 石館治良氏の率いる(株)開明製作所です。会員一同素晴らしい話が聞けると期待しております。</p> <p>また、各会員企業の後継者や中堅幹部を集めた次世代経営幹部会(KIK分科会)も久方ぶりに独自活動を開始する事になり、7月14日に旗揚げを行います。KIKでは只今法人会員及び個人会員を募集中です。この機会に是非ご参加下さい。<連絡先：045-633-5192 KIK事務局 芝、渡部></p>
<p>高機能環境舗装等プロジェクト 織方BC</p> <p>二次製品の実用化にも対応できるような産学公研究体制を整備した。すなわち新製品開発・実験・原材料研究・品質管理・コスト削減等々の各課題に関して下記の通りR&D体制で分担することとなる。</p> <p>①自社の「環境技術研究所」</p> <p>②関東学院大学工学部・出雲淳一教授研究室</p> <p>③其大手道路会社の研究所</p> <p>④神奈川県産業技術総合研究所 等</p> <p>量産体制整備も含め、事業化に向けてこれからは本番を迎えます。</p>	<p>シフト21 有村BC</p> <p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的としています。毎月第2火曜日に定例会を開催し、外部講師による講演、会員からの話題提供による議論、先進企業視察などを通じて交流と研鑽を図っています。</p> <p>6月の定例会は、室内空気環境汚染について事業を展開しているハヤカワテクノブレーン早川成昭氏に「住まいと健康ー室内の空気の汚れと健康障害」について伺いました。</p> <p>7月の定例会は、7月13日(火) 神奈川テレビのスタジオ・製作現場の視察見学と、TVKエンタープライズの井上由加里氏から「インターネット放送の将来と展望」についてお話を伺います。</p> <p>8月の定例会は8月3日(火) に、JASPA株代表取締役 池田正和氏に「宇宙開発を目指すまんてんプロジェクトの軌跡(仮題)」についてお話いただきます。</p> <p>シフト21では企業の皆様の参加を歓迎しております。初回参加は無料、2~3回目までは1回千円でご参加いただけます。お問合せは有村まで hda00467@nifty.ne.jp</p>
<p>新防食技術活用プロジェクト 田中(繁)BC</p> <p>次回例会を7月14日(水)の午後3時から、神奈川県中小企業センター5階会議室で開催いたします。参加者の皆様からのPR、自社技術の紹介を歓迎します。事務局からは本年度の具体的な活動計画を提案します。かなり積極的な活動を含んでおりますので、ご期待ください。</p> <p>講演及び議事：</p> <p>①基調講演：「防食関連のトピックス」横浜国立大学、永井研究員</p> <p>②大学発ベンチャー「ベンチャーアカデミア」からの提案：横浜国立大学 朝倉教授</p> <p>③参加企業の防食課題に関する情報交換</p> <p>④本年度の「新防食技術活用プロジェクト」活動計画の提案、意見交換。</p>	<p>シフト21 有村BC</p> <p>7月の定例会は、7月13日(火) 神奈川テレビのスタジオ・製作現場の視察見学と、TVKエンタープライズの井上由加里氏から「インターネット放送の将来と展望」についてお話を伺います。</p> <p>8月の定例会は8月3日(火) に、JASPA株代表取締役 池田正和氏に「宇宙開発を目指すまんてんプロジェクトの軌跡(仮題)」についてお話いただきます。</p> <p>シフト21では企業の皆様の参加を歓迎しております。初回参加は無料、2~3回目までは1回千円でご参加いただけます。お問合せは有村まで hda00467@nifty.ne.jp</p>
<p>異業種ネットワークフォーラム(INF) 田中(繁)BC</p> <p>第6回全国大会を11月5日(金)に石川県金沢市で開催しますが、500名の参加者を想定しています。</p> <p>中小企業のネットワーク化を支援する「ITビジネスマッチング」コーナーを開設し、IT活用支援企業の展示会を行います。同時に午前中にITソリューションプロバイダー8社の具体的な提案(講演会)を予定しています。ご期待ください。</p>	<p>シフト21 有村BC</p> <p>7月の定例会は、7月13日(火) 神奈川テレビのスタジオ・製作現場の視察見学と、TVKエンタープライズの井上由加里氏から「インターネット放送の将来と展望」についてお話を伺います。</p> <p>8月の定例会は8月3日(火) に、JASPA株代表取締役 池田正和氏に「宇宙開発を目指すまんてんプロジェクトの軌跡(仮題)」についてお話いただきます。</p> <p>シフト21では企業の皆様の参加を歓迎しております。初回参加は無料、2~3回目までは1回千円でご参加いただけます。お問合せは有村まで hda00467@nifty.ne.jp</p>
<p>会員各位</p> <p>事務局長会議参加のお誘い!! 渡部次長より</p> <p>現在異グ連運営に直接関与する会議には理事会(年2~3回開催)、事務局長会議(各月)、及び事務局スタッフ会議(各月及び随時)があります。</p> <p>中でも事務局長会議では議長、副議長、事務局長並びに各交流会の事務局長等が毎回出席され、白熱した議論が展開されています。</p> <p>事務局長会議は神奈川県異グ連の運営に直接会員各位のご意見ご要望を反映させる重要な機能を持っています。是非ご参加下さい。</p> <p><7月事務局長会議は7月15日午後2時より、中小企業センター5F会議室></p>	

産学官交流サロンのコーナー

かわさき経済人ネットワークサロン第3回(6/22開催)の報告

田中(繁)BC

当日は30名の参加者で、初めての参加者が10名ほどありました。「光触媒の身近な応用を考える」をテーマに(財)神奈川科学技術アカデミー(KAST)の馬場常務理事、金子研究部長から、日本発の世界的技術(発明者がノーベル賞候補)である光触媒応用の研究状況を詳しく聞きました。7月21日、22日にKASTで光触媒フェアが予定されていますが、その機会に「光触媒ミュージアム」も開設されます。光触媒クリーニング効果、殺菌効果、農業廃液処理、前駆体添加プラスチック等の実用化が進んでいます。NPO法人の「夢と多様性」の豊島理事長からはタバコの煙を吸引して光触媒で無害化するアートフラワーへの応用が紹介されました。地域の企業が光触媒応用の事業化をする場合にはKASTが全面的に支援してくれます。

懇親会では初参加の桃井国志さんの弾き語りギター演奏と、堤幸子さんの音楽(歌)の手話通訳がありましたが、素晴らしい音楽の手話通訳に感動し、また、聴覚の悪い人が音楽を楽しむ支援の手話が非常に有効であることを実感でき、新しい発見をしました。

次回の第4回は8月24日(火)18時から開催しますが、開催場所は同じKSPの310会議室です。テーマは「日本の教育と教育ビジネスを考える」です。高齢化社会を迎えた日本で、年金、定年制、就職、環境保護、少子化、等の世代間の軋轢問題が議論されておりますが、今回はそのテーマを取り上げて、意見交換をする事になりました。夏休みですので、学生さんであるご子息や、ご自分の子供世代の若者を同行して、世代間の意見交換をして、新しい発見をしたいと考えております。是非とも若者をご同行ください。

産学官交流サロンに参加して!! 一つの雑感

井上誠一AD

過日かながわ経済人ネットワークサロンに参加し、始まる前の見学ツアーで「光触媒」という技術の説明を受けた。非常にこれから面白くなりそうな技術で、環境にやさしいという昨今のコンセプトにも合っている。いつも通りの宴会でお酒のせいとか、この基本技術をSingaporeにライセンスし応用面の技術開発をSingaporeanにやらせてみれば、東南アジアや中国に売れる製品が、どんどん出てくるのでは——と勝手に思いついた。

そこで、話を在日シンガポール大使館の担当一等書記官に持ち込んでみた。この書記官は、なんと大阪大学情報工学出身で日本語ぺらぺら——大学としては、なんと私の後輩だったため話ほとんどん拍子——

彼、曰く“井上さん、10月11-15日にシンガポールで「Global Entrepolis Singapore」という主にTechnology Transferのイベントがあり、起業に必要な人(Entrepreneur)、物(Technology)、金(Venture Capital)が集まる。昨年は140ほどのVenture Capitalが、なにか投資するものはないか?と血眼だった。中国からは約1000人のアントレプレイヤーや、インドからも500人、その他東南アジアから多数集まった5日間だった。どうです?有志を募って行ってみませんか?”

たしかにSingaporeは小さくて多彩な人の集まる所なので「光触媒」のような技術を広げていくのに好都合な国のように思える。

「光触媒」に関係なく、なにか探しにでもこのイベントへ行ってみるか、8月末までに検討しようと思っている。(詳細のカタログ—英文は井上が持っています。)

予告楽しい催し!!

!第3回三浦半島経済人サロン開催ご案内!

八幡BC

異グ連が神奈川中小企業センターから委嘱を受けて開催をしている「新産学公流サロン」の横須賀版が、神奈川新聞社の共催もいただき、また関係者の熱意で定着化しつつあります。

概ね隔月に集まって、三浦半島を始め神奈川の明日を何とかしようという面々が、場内外で語り合い、悲憤慷慨さらには大所高所からの議論を交換し、会場が狭く机を撤去しようかと運営担当者がはらはらしています。

第3回は「三浦半島の今を考える」というテーマで三浦市の前企画部長・吉田茂氏が、さらに「横須賀からベースビジネスを」という横須賀ならではの話題を白井朗氏から提供いただけます。ビールを飲みながら脳細胞を活性化させるタベに参加されませんか?百聞は一見にしかず、躊躇わず覗いてみてください。

開催は**今月22日(木)18:00~20:00**、**神奈川新聞横須賀支社4F会議室**、三浦半島以外の方も大歓迎です。詳細は異グ連事務局(芝、志村、045-633-5192)まで。

かながわ異グ連会員の方、会員でない方、どなたでも自由に情報交換・投稿が出来ます。

(投稿先:事務局スタッフ小野川利昌 onogawa@hkg.odn.ne.jp、FAX044-954-6254

相楽 守 mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp FAX03-3701-9712)